

呉市手をつなぐ育成会 ～12月号～

育成会だより

障がい児者を守り、その福祉の向上を図ることを目的とします。



2025年(令和7年)12月1日発行

呉市手をつなぐ育成会

会長 中川 潤二

〒737-0051

呉市中央5丁目12-21

呉市福祉会館3階

Tel(0823)24-2260

Fax(0823)24-2568

E-mail kure-teotunagu

@herb.ocn.ne.jp

<http://kure-teotunagu.org/>



呉市立白岳小学校
たんぽぽ 1・2・3組

『Merry Christmas』

もくじ

表紙 呉市立白岳小学校

P.2 「テレビを見すぎると…」会長 中川潤二
感謝状と表彰状おめでとうございます！

P.3 こどもがまんなかのまちをめざして

P.4 記念式典及び記念講演会のご案内
60周年記念誌表紙絵募集

P.5 自立支援協議会研修報告 サポートファイル研修会報告

P.6 ぼくの学級！わたしの学級！呉市立川尻中学校

P.7 本人活動報告

全国障害者スポーツ大会出場報告 桑田真紀

P.8 お知らせ 広告 編集後記

呉市立小中学校特別支援学級合同作品展案内

12月の予定

12月7日(日)障害者週間記念行事

輝いて☆くれヒューマンフェスタ 2025

12月14日(日)

クリスマス会9:30～11:30

受付 9:00～(呉つばき会館 607)

12月21日(日)

本人部会会議 10:00(呉つばき会館)

うたう会 13:15(呉つばき会館)

★次回発行予定は1月1日です

★12月27日(土)～1月4日(日)

年末年始閉所致します



「テレビを見すぎると・・・」 会長 中川 潤二

「テレビを見すぎると・・・」と子供のころよく言われました。テレビの前から動かなくなって、勉強や手伝いをしなくなり、目も悪くなる。そんな親の思いからだと思います。教育上良くない番組もあったからだとも思います。

テレビで強く心に残っている風景は、小学校の家庭科室です。同級生 24 人が畳の上にきちんと座って待っています。先生がおもむろに箱に足が 4 本あるテレビの扉を開けます。そして、つまみを回すとしばらくして白黒の画面が見えてきます。私たちは道德のテレビ番組をひたすら見入っています。内容も良かったのですが、道德のテレビを見る時間は心地よい時間だったのです。



中学校の頃は夕方学校から走って帰って

いました。「ひょっこりひょうたん島」が始まるのです。今、振り返ると幼稚な人形劇かもしれませんが、作り手の熱意が感じられ、何より井上ひさしさんの脚本はおもしろかったのです。友達もよく見ていて、学校でよく話していました。

近頃、減っていたテレビを見る時間が増えてきました。朝ドラも「あんぱん」以来、毎回楽しく見ています。BS で早朝に録画しておいて、手のすいた時間に夫婦で見えて話題にしています。録画をするということができるようになって

から、テレビの見方も変わってきています。時間に制約されなくなりました。ずいぶん便利になってきました。

今、「テレビを見すぎると・・・」という言葉は、聞かれなくなっています。代わりに「スマホを見すぎると・・・」とされています。テレビは、どちらかというと一方的な受け身的なものです。それに比べてスマホは、元来電話から発展してきたものですから、双方性のやりとりができます。また、辞書をひく代わりにすぐ調べたいものを表示できます。地図もゲームも財布だってスマホが対応してくれます。

それだけに交換台を通していた世代(大学生の時、島でダイヤル交換に変える工事のバイトをしました人間)としては、ダイヤル→携帯→スマホと急速に変わってきたことになかなか対応しきれいていません。SNS などとても無理です。今の子供たちはスマホで SNS は当たり前生活になっています。AI も入ってさらに進化していくでしょうから「スマホを見すぎると・・・」ばかりは言えないようです。ただ、双方性があるということで、自分の発信する言葉は気をつけなければいけません。思いを伝えられるよう、言葉の意味をたえず学んでいく必要があります。私も学び続けなければなりません。

おめでとうございます！

11月30日に開催されました、第50回広島県知的障害者福祉大会 三原・竹原大会に於いて、知的障害児・者の教育・福祉の進展に寄与し、啓発活動に尽力する等、功績が顕著な方・団体への感謝状の贈呈式を行いました。感謝状と表彰状が贈呈されました。

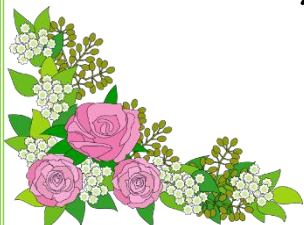
感謝状 表彰状 個人 3 名・1 団体 (順不同)

古江 由紀枝様(呉市民生委員・児童委員協議会 会長)

神崎 文子 様(うたう会支援者)

石井 克行 様(本人部会 うたう会副会長)

呉南ロータリークラブ様



こどもがまんなかのまちをめざして～呉市の「こどもまんなか」の取り組み～

呉市は、社会全体（市役所や企業、事業者、家庭、地域社会、学校、こどもや子育て世帯で
あし
みん）でこどもの健やかな成長を後押しすることで、「こどもがまんなか」をめざ
しています。「こども」とは、年齢ではなく「心身の発達の過程にある者」と定められていま
す（こども基本法）。こどもや若者のみなさんのそれぞれの状況に応じて、社会で幸せに暮ら
していけるよう、支えていきます。

2024年10月1日、市内の企業・団体などと「こどもまんなか
応援サポーター共同宣言」を行いました。呉市手をつなぐ
育成会も宣言してくれました。お店や会社、地域のグループなど
が、子育てしながら働きやすい職場にするための取組やこども
メニューのある飲食店など、それぞれができることを「こども



くれこどもまんなか応援
サポーター & アクション
紹介サイト QR コード

まんなかアクション」として発信し「くれこどもまんなか応援サポーター」として登録してい
ます。サポーターの情報は「こどもまんなか応援サポーター紹介サイト」に掲載しています。
(令和7年10月26日現在 263者)



呉市こどもの居場所
マップ QR コード

また、呉市ではこどもが気軽に立ち寄れる“居場所”を地域
につくる「momoプロジェクト」という、こどもの居場所
づくりに取り組んでいます。こどもが様々な大人に見守ら
れながら、遊んだり、おしゃべりしたり、安心して過ごせ
るあたたかい場所を地域のみなさんと協力してつくって
います。

また、令和7年3月に「こども計画」を策定しました。呉市のこどもたちが安心して育ち、笑顔
でいられるまちにするための市の計画です。この計画をこどもたちにわかりやすく伝える 4 コ
マ漫画入りの「こども版こども計画」を現在作成中です。呉市の未来をつくるこどもたち自身
の声をしっかり聴いていきます。

「こどもまんなか」は、「大人は端っこ」ではありません。こどもも大人も誰もが笑顔でくらし
るまちを目指して、呉市全体で力を合わせて取り組んでいます。

(文責 呉市こども部 山口)

記念式典及び記念講演会のご案内

呉市手をつなぐ育成会は、この度発足60周年を迎えました。
次のとおり記念式典及び記念講演会を開催いたします。

日 時 令和8年6月20日（土）

記念式典 13時30分から

記念講演会 14時から15時30分まで

場 所 新日本造機ホール（くれ絆ホール）

講 師 呉市医師会病院 副院長

大腸肛門病センター センター長 藤森 正彦様

※詳しい内容は、決まり次第育成会だよりでお知らせします。



呉市手をつなぐ育成会60周年記念誌 表紙絵等募集について

「呉市手をつなぐ育成会60周年記念誌」を作成することになりました。作成にあたり、表紙絵・挿絵・書等を募集いたします。

障がいのある方が描いた作品であれば、どなたでも応募いただけます。

作品は次の要領にそって作成してください。



「呉市手をつなぐ育成会
50周年記念誌 表紙」

応 募 要 領

用 紙・画材等 B5～A4程度の大きさで画用紙など耐久性のある紙を使用

（裏面が写る紙、地色の入った紙＜色紙など＞は避けてください。）

蛍光ペンは印刷で再現できませんので使わないようにお願いいたします。

題 材 等 自由

表紙の題字を書いてみようと思う人は、「きずな」（横書き）と書いてください。

作品の取り扱い 採用作品は本誌掲載のため使用します。応募作品は原則としてお返しいたしません。返却をご希望の方は育成会までご連絡ください。

応 募 締 切 令和8年(2027年)2月16日（月）

※詳しくは育成会までお問い合わせください。

自立支援協議会研修会報告

『思春期の性、ジェンダーとどう向き合うか？

すぐに始めていきたい命と性の情報提供』 講師：金丸博一様

10月14日(火) こども部会にて行われました研修会に参加しました。

障害児・者は性被害のリスクが高く、体を守る知識・性的同意・相手を尊重する関係性など学ぶ機会が十分になく包括的な性教育が必要です。

本人には、どうすればいいのか具体的に示す(情報提供)こと。大切なものには名前があり、その役割を伝える。身体の名前や役割を知ることから始め、男女の体の違い、体の変化や人との関係についても普段から本や写真を一緒に見るなどの取り組みが必要です。

性に関する情報提供は、命の教育です。問題行動について検討する前、常に情報提供は十分かどうか検討し、興味・関心に寄り添うことを優先し、何をしてはいけないかを伝えるだけでなく、困ったときにどうすれば良いかまでを繰り返し、実際に一緒に理解できるやり方を示し、家族・支援者と一体になって支援することが大切だと学びました。 【井手本祥子】



※以下は支援者・家族向けに利用可能な資料と紹介されました。

令和6年度障害者総合福祉推進事業

知的障害者の恋愛、結婚等に係わる情報提供、相談支援等に関する調査研究支援の手引き
「人とかかわり・からだ・恋愛・セックスを学ぶためのハンドブック」

<https://www.mhlw.go.jp/content/001526318.pdf>

サポートファイルひろしま結愛～yui～

『元気が出る研修会』 講師：徳永 玲子様

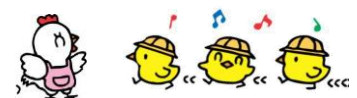


11月14日(金)、広島県立呉南特別支援学校 PTA 保護者研修会に行ってきました。

13名の保護者が参加され、初めてサポートファイルを記入する方が多く、皆さん熱心に聞いておられました。説明を一通り聞いた後、フェイスファイルの基本的情報を記入しました。近所の民生委員の方を皆さん知っておられ、「緊急連絡先」の欄に記入される方も多くおられました。困った時の為に、繋がりを持っておくことが大切だと改めて感じます。

「相談歴等」は、子どもの様子について気になり始めた頃を、皆さん思い出しながら記入をされていました。「本人の状態」を書く時に大切なのは、災害など、避難先で支援をしていただくことを想定して書くこと。また、子どもの長所や課題も学年が上がると共に書き替えることで成長を感じられると思いました。

後半は、子どもとの距離感チェックリストを記入しました。子どもの年齢に応じた対応の大切さを感じました。お母さんから子どもにどんな声掛けをしていますか？の質問には「すごいね！えらいね！だいすきだよ！あいしてるよ！」など思いのこもった言葉が沢山でていました。皆さん研修会が終わる頃には、笑顔も多く、本当に元気が出る研修会でした。【松岡絵美】



ほくの学級！
わたしの学級！

呉市立川尻中学校



5 月
鯉のぼり



6 月
藤の下ののろ文



7 月
鯉と竜



8 月
ヒマワリと花火

今年も玄関の円柱に、四季折々の作品を飾っています。夏は暑く、冬は寒い下足のフロアですが、お花ボランティアさんの生花と合わせ、生徒のみんなや地域の方々をお迎えしています。



つばさ学級・のぞみ学級に今年は、それぞれ男子1名ずつの1年生が加わりました。教室が隣同士なので、いつでも合流でき、給食時には、一緒に配膳して食べています。



9・10 月
満月とハロウィン



学校キャラクター「のろ文」は、お花紙を丸めて作りました。



川尻の風景～新宮神社～



ほんにんかつどうほうこく 本人活動報告

11月16日(日)本人部会の勉強会がありました。

先月、選挙について勉強をしました。

今月は、呉市明るい選挙推進協議会竹上先生に来てもらって、選挙の話や投票について学びました。

始めに、スライドで模擬の候補者の話を聞き、どの



候補者の公約が自分の思いと一緒になのかを考えました。

次に、本番に使う名前を書く台や投票箱を用意してもらって、記入して投票箱に入れる体験をしました。難しいときは受付の人に伝えと支援をもらえるので、これからの選挙で役立てたいです。

その後、県大会やクリスマス会の話もしました。今年は初めて障害者週間の行事「ヒューマンフェスタ」に歌で出演します。とても楽しみです。

県大会も近いので風邪をひかないよう体調に気を付けたいです。

うたう会は、11月の歌、クリスマス会やヒューマンフェスタの歌の練習もしました。



ご自身で選挙や政治に関して情報収集をしている方や、活発な意見を述べてくれる方が多く、とても良い雰囲気でした。実施できました。私自身も学ぶことが多く、なにより楽しかったです。今回の出前講座を通じて、みなさんの投票に対するハードルが低くなったのではないかと思います。

選挙は、自分の意見を伝える大切なチャンスです。みんなの権利なので安心して投票所へ行きましょう。

あなたの一票が未来へつながります。【選挙管理委員会 中本将理】



第24回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く障スポ」頑張りました!

全国障害者スポーツ大会卓球の部に広島県代表で参加してきました。会場では広島市の仲間や県外の友達と情報交換したり、LINE交換をして楽しんでました。今回は YouTube で試合を配信していたので、大会に参加出来なかった仲間が観て電話や LINE でアドバイスをくれたりして、周りの人の激励も励みになってました。この大会はグループ内で順位を争うので試合は 2 試合しかありませんが独特な雰囲気の中、緊張しながらも全勝して金メダルを貰い喜んでました。

拓弥も私も卓球、太鼓、療育等を通じて沢山仲間が増え、とても力になってます。まだまだ大変な事がありますが、一緒に楽しみながら成長したいと思います。

【桑田真紀】



☆ありがとうございました☆

【順不同・敬称略】（11月20日現在）

サポート会員の皆様

檜垣 真実 西本 尚司 徳永 実



サロン「みんなの話(わ)」

悩みは？なんでも話して
なんでも聞いてみませんか



日頃、子育てで困っていると感じていること、
就学の悩み、将来の不安など、いろいろな事を参加
された方々と一緒にお話をしてみませんか。

日にち：令和8年1月15日（木）

時間：10時～12時

場所：呉市福祉会館3階 会議室

申込み：育成会事務局

※締切り：1月9日（金）

いくせい太鼓うたう会
オープニングで出演します。

障いて☆くれヒューマンフェスタ2025「障害者週間」
記念行事
映画上映「梅切らぬバカ」(77分)

入場料無料 事前申込不要

呉市手をつなぐ育成会いくせい太鼓の
演奏や、お菓子などの販売も同時開催

日時 2025年12月7日（日）
14:00～15:45（開場13:00）

場所 呉信用金庫ホール（呉市文化ホール）
呉市中央3丁目10-1

連絡先 呉市障害福祉課
☎0823-25-3523 FAX 0823-25-2922
メールアドレス syohuku@city.kure.lg.jp

＜あらすじ＞
山田珠子は、息子・忠男と二人暮らし。毎朝決まった時間に起床して、朝食をとり、決まった時間に家を出る。庭にある梅の木は枝が伸び放題で、隣の里村家からは苦情が届いていた。ある日、グループホームの案内を受けた珠子は、悩んだ末に忠男の部屋を決める。しかし、初めて離れて暮らすことになった忠男は環境の変化に戸惑い、ホームを抜け出してしまふ。そんな中、珠子は邪魔になる梅の木を切ることを決意するが・・・

＜キャスト＞
加賀まりこ、塚地武雅、ほか
＜監督・脚本＞
和泉香太郎

日本語字幕付
手話通訳・要約筆記付

年末年始の休業のお知らせ

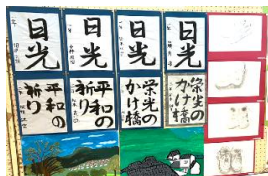
12月27日(土)から1月4日(日)

第49回 呉市立小中学校 特別支援学級合同作品展ご案内

日時：1月23日(金)～1月27日(火) 9時～17時※最終日は14時まで

場所：呉市役所1階多目的室

(昨年度の様子)



障害福祉サービス事業

青虫の会

呉市本通4丁目9-6 青虫本通ビル

☎0823-24-9477/FAX0823-24-9477

私どもは就労継続支援B型作業所として住民の方々のご支援のもとリサイクル品の収集や公園の清掃など日々充実した活動を行っています。

◆◆◆作業内容◆◆◆

資源回収・機器分解

清掃活動

商品販売



編集後記

12月障害者週間行事に、育成会の本人部会うたう会と、いくせい太鼓の仲間がオープニングの舞台に出演します。日頃の成果を発揮し、地域の皆さんとの交流を深めます。

また、障害者週間を機に本人さんの「自己決定」と「社会参加」の重要性を再確認し活動に繋いでいきたいと思っています。

呉市手をつなぐ育成会は今年度60周年を迎え、来年度に記念行事が開催されます。未来につなぐ記念になる行事になりますようお願いいたします。

12月にクリスマス会が開催されます。今年も呉南ロータリークラブ、呉清水ヶ丘学園インターアクトクラブの皆さんにお世話になります。楽しい会になりますように！